

# 白浜町 議会だより

No.34

平成26年(2014)11月

発行 白浜町議会

編集 議会広報特別委員会



台湾宜蘭懸礁溪国民小学校バレー交流試合（白浜町立総合体育館）

## CONTENTS

■ 平成26年第3回定例会等	P. 2~4
■ 一般質問（平成26年第3回定例会）	P. 5~13
■ 議案第64号及び第65号の審議について	P. 14
■ 提出した意見書・請願の審査結果	P. 15~16
■ 活動報告	P. 17
■ 町議会・町議会議長の主な動き	P. 18

## 決算審査特別委員会を設置

白浜町議会平成26年第3回（9月）定例会は、9月2日招集、16日間の会期で開催しました。

当局から提案された案件は、条例改正3件、一般会計、特別会計補正予算6件、報告7件、平成25年度白浜町一般会計、特別会計歳入歳出決算認定等11件、その他の案件10件、また、議会提出案件は5件です。

決算認定関係については、決算審査特別委員会を設置して閉会中の継続審査としました。議案第64号及び第65号については質疑、討論を行い、採決の結果、賛成多数により可決しました。（詳細については14Pをご覧ください。）

また、意見書案の否決が1件ありましたが、その他の案件についてはすべて可決承認しました。

定例会2日目から3日目には一般質問が行われ、9議員が登壇し、町長および教育長に質問をしました。

### □ 条例制定

○白浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定  
子ども・子育て支援法の施行に伴う関係規定の制定

○白浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

○児童福祉法の一部改正に伴う関係規定の制定

○白浜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

○児童福祉法の一部改正に伴う関係規定の制定

### □ 補正予算

○平成26年度白浜町一般会計補正予算（第4号）

既定の歳入歳出予算の総額に3億6千867万4千円を追加し、歳入歳出予算総額を124億9千817万9千円  
主な補正内容は次のとおりです。

（単位 万円未満四捨五入）

### 【総務費】

・行政手続整備支援業務委託料 150万円  
・マイナンバー法対応例規整備支援業務委託料 150万円

・財政調整基金積立金 2億6千300万円  
・ふるさと白浜応援寄付金お礼産品 100万円

・ふるさと白浜応援基金積立金 300万円  
・ITビジネスオフィス管理費 71万円

・DV支援措置管理システム導入事業 54万円  
・中間サーバー・プラットフォーム整備負担金 98万円

### 【民生費】

・介護保険特別会計繰出金 870万円  
・予防接種委託事業 1千18万円  
・源泉調査負担金 109万円

【衛生費】

- ・焼却施設修繕事業

1千600万円

【農林水産業費】

- ・農家台帳システム改修事業

173万円

- ・林道補修事業

100万円

【観光費】

- ・紀伊日置駅舎事務室改修事業

220万円

- ・番所山自然観察ガイドブック作成補助金

50万円

【土木費】

- ・道路維持補修事業

500万円

- ・河川維持補修事業

285万円

- ・下水道事業特別会計繰出金

436万円

【消防費】

- ・消防団員安全装備品整備事業

36万円

【教育費】

- ・冷暖房機更新事業

75万円

【農林水産業施設災害復旧費】

- ・漁港漂着物処理委託料

80万円

- ・漁港施設災害復旧事業

55万円

- ・林道施設災害復旧事業

1千141万円

【その他公共公用施設災害復旧費】

- ・公共公用施設災害復旧事業

90万円

○平成26年度白浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に9千560万4千円を追加し、歳入歳出予算総額を34億4千260万4千円

○平成26年度白浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に373万3千円を追加し、歳入歳出予算総額を5億5千353万3千円

○平成26年度白浜町介護保険特

別会計補正予算(第1号)

既定の歳入歳出予算の総額に3千751万円を追加し、歳入歳出予算総額を26億9千251万円

○平成26年度白浜町住宅資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)

既定の歳入歳出予算の総額に69万円を追加し、歳入歳出予算総額を623万7千円

○平成26年度白浜町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

既定の歳入歳出予算の総額に435万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を8億6千191万2千円

□平成25年度白浜町水道事業特別会計未処分利益剰余金の処分

平成25年度白浜町水道事業特別会計未処分利益剰余金を利益積立金として1千647万3千428円

□田辺西牟婁地区消防通信指令事務協議会規約の変更に

協議

地方自治法の一部改正に伴う規約の変更

□物品購入契約

(単位 万円未満四捨五入)

○白浜町立小学校教育用コンピュータシステム整備事業に係る物品購入契約

【数量】ノートパソコン61台他ソフトラ類等一式

【契約金額】1千836万円

【契約の相手】

和歌山県田辺市神子浜一丁目20番12号

和歌山電工株式会社  
代表取締役 木下 博之

○白浜町立中学校教育用コンピュータシステム整備事業に係る物品購入契約

【数量】ノートパソコン34台他ソフトラ類等一式

【契約金額】886万円

【契約の相手】

和歌山県田辺市神子浜一丁目20番12号

和歌山電工株式会社  
代表取締役 木下 博之

○白浜町立小学校教育事務用パソコン整備事業に係る物品購入契約

【数量】教育事務用パソコン45台他ソフト類一式

【契約金額】767万円

【契約の相手】

和歌山県田辺市神子浜一丁目20番12号

和歌山電工株式会社

代表取締役 木下 博之

○消防車両更新事業（日置川第2分団）に係る物品購入契約

【数量】消防ポンプ自動車1台

【契約金額】1千241万円

【契約の相手】

和歌山県田辺市稲成町3031番地の18

和歌山トヨタ自動車株式会社

田辺店

店長 小田 俊一

○高規格救急車更新事業（すさみ署）に係る物品購入契約

【数量】高規格救急車1台

【契約金額】1千651万円

【契約の相手】

和歌山県田辺市上の山一丁目8番16号

日産プリンス和歌山販売株式会社  
社田辺支店

店長 宮崎 一正

○高規格救急車積載資機材（白浜署）に係る物品購入契約

【数量】

自動体外式除細動器、電動吸引器等一式

【契約金額】990万円

【契約の相手】

和歌山県和歌山市手平三丁目8番43号

株式会社大黒

代表取締役 堀井 孝一

○高規格救急車積載資機材（すさみ署）に係る物品購入契約

【数量】

自動体外式除細動器、救急搬送用人工呼吸器等一式

【契約金額】1千173万円

【契約の相手】

和歌山県和歌山市手平三丁目8番43号

株式会社大黒

代表取締役 堀井 孝一

○シヨベルローダー更新事業に係る物品購入契約

【数量】シヨベルローダー1台  
【契約金額】551万  
【契約の相手】

和歌山県田辺市新庄町496番地の1

日立建機日本株式会社紀伊田

辺営業所

営業所長 細尾 慎一郎

□決算審査特別委員会を設置

平成25年度の各種会計の決算審査認定について、監査委員の意見書をつけて提案されました。

これらの決算審査について、白浜町議会では、決算審査特別委員会を設置して議会閉会中に継続して取り組むこととしました。

【委員長】 楠本 隆典

【副委員長】 水上 久美子

【委員】 辻 成紀

廣畑 敏雄

古久保 恵三

玉置 一

## 平成26年第3回臨時会

白浜町議会平成26年第3回（7月）臨時会は、7月3日招集、1日間の会期で開催しました。

当局から提案された案件は、条例改正1件、その他の案件1件で、また、議会提出案件は2件で、それらすべてについて可決承認しました。

□条例改正

○白浜町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

町長の給料月額額の減額に伴う条例の一部改正

□物品購入契約

（単位 万円未満四捨五入）

○湯崎地区漁業振興施設の\_parsolに係る物品購入契約

【数量】13基

【契約金額】853万円

【契約の相手】

株式会社JTB商事白浜営業所  
所長 石田 勝己



辻 成紀 議員  
(一問一答)

- ・ J R 日置駅について
- ・ 殿山ダム水利権更新について
- ・ 公共交通について
- ・ 白浜町テニスコート駐車場建設について



(J R 日置駅)

**問** J R 日置駅について、外観を見てもみずぼらしく、補助金を活用し外壁の改修を行い、少しでも活気のある駅にしてはいかがか。

**答** 来年度には高速道路が開通し、インターチェンジが大古地区にでき、日置駅まで近くなり、観光案内所や地域の総合案内所として有効利用ができると考えている。

**問** 駅前周辺の整備と駐輪場の屋根の計画について

かがか。また、J R をもって利用するような施策は講じないのか。

**答** 日置駅前を安全に利用するには、県道拡幅が必要で、早期完成を県に願います。日置駅駐輪場の屋根は、計画的に整備していきたい。日置駅に特急列車の臨時停車や貸し切り列車の要望をし、J R と協議していきたい。

**問** 殿山ダム水利権更新について、関西電力への要望書を8月11日に提出しているが、県への要望書の提出はいつするのか。

**答** 関西電力から日置川区長会等への要望書に関する説明会が開催された後に提出を考えており、9月中に要望書を提出する。

**問** 関西電力は町からの全要望について回答するの

か。また、その内容で町が納得できない部分があれば、再度、要望していくのか。そして、その回答書について日置川流域住民にどのように説明するのか。

**答** 関西電力からの回答は要望書に対してすべてされている。回答内容について精査し、必要があれば再度説明を求めていきたい。区長会等に関西電力から説明していたら、日置川流域住民へは対策協議会から回覧等でお知らせされると考える。

**問** 公共交通について、車の運転できない高齢者が他人に頼むことなく病院や買い物に利用できることに対し、少し明るい光が見えたのではと考えるがいかがか。また、日置川地域以外の取り組みについても早期に対応を願っているが、土日、祝祭日の運行を検討してい

ただきたいかがか。

**答** 日置川地域でのバス路線の廃止に関しては、代替手段の構築が急務であると認識をし、鋭意取り組んできたところである。今後、実証運行のなかで見直しを行い、本格運行に向け取り組みたい。

**問** 白浜町テニスコート駐車場建設について、地域住民や関係者から海来館前や農産物販売店前の駐車場が満車となり、営業している方や来客者にも迷惑をかけていると聞か、駐車場の建設計画について問う。

**答** テニスコート運営と付近の施設が共存共栄し、お互いの活性化向上につなげるためには、この駐車場がぜひとも必要である。



ひろはた としお 議員  
廣畑 敏雄 (一問一答)

- 日本の法律では飛行できない  
オスプレイの県防災訓練参加について
- 風力発電は住民の健康あつてのもの
- 学童保育のさらなる拡充を
- 新図書館の早期実現を

**問** 何度も事故を起こしているオスプレイの安全性についてどのように考えるか。万が一、訓練の際に事故が起きた場合の町の責任について、町長はどのように考えているか。

**答** オスプレイの安全性については、日米合同委員会において、十分な再発防止策がとられていることを確認し、最大限の安全対策がとられていることを両国間で合意しているところであり、政府において総合的に検討した結果、オスプレイの安全性が判断されたと聞いている。事故の責任については、訓練に参加する各機関は事故がおこらないように万全の体制で臨むが、万が一事故が起こった場合は、関係機関が国または県、市町村の場合、その被害についてはは国家賠償法に基づく賠償、民間の場合は民法による損害賠償、また、米

軍機による事故の責任は米軍が負うが、その被害については国が賠償金の支払いを行うこととなる。

**問** 風力発電を反対する要望書が住民から提出されているが、町長の考えはどうか。また、設置場所は防火保安林の指定がなされているが、この指定や解除についてはいかがか。また、住民の健康不安や低周波の被害についてはどのように考えているか。

**答** 風力発電施設建設に対する地域のさまざまな思いを感じており、まずは地域のなかで十分な議論をしていただくことが重要だと考えている。住民の健康被害があつてはならないと考えており、セーフティネットの構築なども議論する必要があつてはならないかと考える。指定申請及び解除は、利害関係者が県に申請、県は市

町村長及び関係機関に意見を求める。その後、県が審査を行い、保安林指定及び解除について決定される。

**問** 樺校区の児童・生徒の健康についての考えと、健康を阻害する要因となる事象があればどのように取り組むのか。

**答** 児童・生徒が健やかに育つことは、すべての人々の願いであり、健康を阻害するような問題が生じた場合、早急に対応していきたい。

**問** 学童保育については、子ども子育て新法施行を前に保護者が子どもたちを安心して通所できる保育場所を拡充する取り組みについて伺う。

**答** 今後は、関係機関とも協議、検討しながら早期にできるところから取り組んでいきたいと考えている。

安心、安全な保育環境を提供できるよう計画的に整備を進めていきたい。

**問** 図書館はその地域の文化的シンボルであり、内容や充実度は町の文化的成熟度のバロメーターと言われているが、新図書館建設の事業計画の策定に踏み出すべきであるがいかがか。

**答** 早期完成をめざしていきたいが、財政確保、場所の選定等々、精査すべき課題が残っている。こうした課題解決に一步一步着実に取り組んでいきたい。



(町立児童図書館)



くすもと たかのり  
楠本 隆典 議員  
(総 括)

## ・公共交通について ・全国学力テスト ・第6期介護保険事業

**問** 地域交通ネットワークと交通弱者の取り組みについて、日置川地域は10月より実施する運びとなった。樺、市江を含む富田川左岸の解決策に何も方策がない。また、はまゆう病院から西富田クリニック間のシャトルバスの区間延長について当局の見解を求める。

**答** 特定の地域ということだけではなく、現存する路線バスとの共存も含め、どのように進めるのか検討していきたい。また、白浜はまゆう病院のシャトルバスについては、地域の利便性が図れるよう、関係機関とも協議をしていきたい。

**問** 全国学力テストについて、和歌山県の結果の報告があったが、県は危機的状況と認識し、今後分析して対策を立てると言われている。当町の現状と結果の公表について見解を求める。

**答** 今後の取り組みとしては、確かな学力をつけさせるための具体的な手立てを探っていくとともに、家庭との連携を深めていくことにより、生活習慣の改善を図っていく。県教育委員会が設置している学力向上対策本部とともに連携をとりながら、児童、生徒の学力向上に努めていきたい。

**問** 医療・介護一体改革に向けた制度改革の一步として「医療から介護へ」、「施設から住宅へ」の方向をふまえた改革があると認識する。また、社会保障の考え方として「自助・互助・共助・公助」を目標とした「地域包括ケアシステム」の完成が第一歩と言われている。そのためには団塊の世代が75歳以上になる2025年に向け、どのような計画を立てるのか介護保険作成委員会での取り組み状況を問う。

**答** 地域の実状をふまえた計画を立てることが重要となり、高齢者の方を対象としたニーズ調査を行い、地域ケア会議や介護保険サービス提供事業者連絡会の意見等を参考に、現状と課題を整理し、新しい総合事業への移行のためのサービス内容や提供主体を検討していきたい。

**問** 地域包括ケアシステムの住民サービスの提供で介護に従事する人材が少ないが問題点はないか。介護従事者は仕事が忙しいわりには待遇が悪いと言われている。

り、人材確保、給与の抜本的改善が必要ではないか。また、介護保険作成委員会での支援策が必要であると考えるが、どのような議論が行われているのか。

**答** 介護人材の質と量の確保のため、介護保険報酬の改定も含め、国や県でも方策の検討がされている。当町としても介護従事者の社会的評価、待遇、定着率の向上を図るため、事業者との連携を深め、事業者に対し情報公表制度を活用し、従業者に関する情報の公表を促していきたい。



(介護療養型病棟の見直しを行っているはまゆう病院)



ほり たくみ 議員  
堀 匠 括  
(総)

## ・観光について

**問** 今年の夏は、天候不順による観光産業の不振が挙げられている。当町においても宿泊施設でキャンセルが相次いだと聞いている。町全体に及ぼす経済的な影響も心配するところであるが、今年の夏の入り込み状況について問う。

**答** 現在集計中だが、日帰りは約25万人、宿泊は約42万人、合計約67万人で、前年の92%程度になると予想している。

**問** 春秋冬におけるの観光対策が必要であると考えますが、どのように考えているか。

**答** これまで紀州クエの取り組みや、最近ではトライアスロン大会の誘致を行ってきたが、さらなる観光資源の研究と発掘が必要である。

**問** 海外からの観光客が増加するなか、今後の訪日外

国人の受け入れを伸ばすための環境整備が不可避である。町をあげてWi-Fi環境の整備に取り組み、利便性を高めることが重要であると考えるがいかがか。

**答** 現在、災害ネットワークシステムの実証実験を進めており、その一部を活用してWi-Fi環境を整備したい。来年度には運用できるよう進めたい。

※Wi-Fiとは無線でネットワークに接続する技術のこと。

**問** 番所山の活用について、今まで行ってきた取り組みと今後の活用について問う。

**答** 番所山の活用については、オープニングサークルの開催や、学習の場で活用するリーフレットを作成する等、情報発信に取り組

んだ。今後も町内外への情報発信に努めたい。



(今後の活用が期待される番所山公園)

**問** 白良浜を舞台にいくつかのスポーツイベントが開催されているが、観戦する方が少ないように感じる。にぎわいを演出するために、厳しい公園条例の規制の見直しも必要ではないか。

**答** イベントの質的向上を前提として、半公共的団体主催による町民理解が得られる行事であれば許可をしている。その動向もどうかいな

がら方向を見出し出したい。

**問** 観光客の集客やリピーターの増加の取り組みの環境として外湯めぐりを促進する取り組みをしてはいかがか。

**答** 議員から指摘のあったもつと演出を際立たせる方がということについては、これまでなかった発想なので、研究させていただきたい。



(外湯めぐり施設の一つである白良湯)





議員 三恵 古久保 (一問一答)

## ・町長と行政の責任

**問** 中間処理施設において、現在まで両区との延長協議はどの程度進展したのか。平成22年9月30日に保呂区が単独にて15年延長協議を済ませ、平成23年2月27日に内ノ川区臨時区民総会で承認された現実をどうして素直に受け入れ、両区合同協議に町は努力しないのか。両区連名の正常な協定に至らない根本的な責任の根幹は何か。

**答** 当初の両区連名での協定書締結の意義や経過をおさえ、使用期間延長に伴う協定書も両区連名での調印となるようさまざまな取り組みを進めてきた。これまでの経緯、経過をきちんと踏まえ、両区との話し合いができるような状況を作っていくべきだと考えている。

**問** しらとり鶏肉加工共同作業場の備品について、たとえ稼働停止といえども納

入時の価格が1億円以上もする機械を町長決裁もなく、行政も知らぬまま廃棄処分されるのはいかがなものか。産業廃棄物としての法的な書類の追跡調査は行ったのか。



(共同作業所に設置していたものと同型の脱骨機)

**答** 廃棄処分時における相手側の認識不足が原因ではあるが、町の指導も足らなかった。町も法的な書類等の聞き取り調査は行っているが、ご指摘の細かな点までは至っていないので、詳細を調査させていただく。

**問** 湯崎漁港整備工事において、6月議会で指摘したずさんな工事についてのその後の対応はいかがか。

**答** 業者と話をしており、工法的にどうするかでとまっているが、災害復旧をする時期に行いたい。

**問** 振興施設の夏場の駐車場運営について、指定管理者とどのような話し合い、または、協定になっているのか。また、町が委託しているガードマンが駐車券発行場所に1人専用に従事しているのはなぜか。

**答** 夏場の駐車場の区画配分をフィッシュヤーマンズワーフ6割、一般客4割としていた。ガードマンを従事させていたのは、利用客が施設を支障なく利用していただけるよう行った。

**問** 7月3日に臨時会まで開催し、夏休み前にパラソルを設置しなければ意味がないと議会を説得にもかかわらず、可決したパラソル納入が7月3日に契約し、7月

18日に変更契約され、9月1日期限も守られず、いまだに納品されていない。夏休み前という目的が失われた虚偽の説明で可決をさせた責任はどうするのか。

**答** 6月議会での説明、経過を考えると、今回の納品遅延についてはまことに遺憾に思っており、大変申し訳なく思っている。業者に対しては、遅延違約金や指名停止について、町として適正な指導をしていきたい。



(納品が遅れて代替品で対応しているパラソル)



みずかみ くみこ 議員  
水上 久美子 (一問一答)

- ・ 環境施策について
- ・ 若者、子育て支援について
- ・ 町の活性化と観光施策

**問** 極小道路や坂道沿住宅地への小型ゴミ収集車導入、身体ご不自由な方やゴミ出し困難なお年寄りの戸別収集を数年来要望しているが、現状はいかがか。

**答** ゴミ出しが困難な高齢者や障害をお持ちの方への対応について、以前、関係課で検討したが、いろいろな課題があり実施には至っていない。再度協議をして、一定の方針を導き出し、地区を決めてモデル的な取り組みができないかも含めて検討したい。



(ゴミ出しが困難な極小道路や坂道)

**問** いじめ防止条例の制定を提言する。子どもたちが

らのSOSはないか。不登校生は小学生で増加と聞くが現状はいかがか。

**答** 白浜町いじめ防止基本法を策定し、方針にしたがって学校運営を進めていくところである。子どもからのSOSは現在のところない。

**問** 数年来、子育て、親の就労支援について質問をし、6月には前向きな答弁をいただいた。学童保育設置要件のニーズはご存知のはずだが、実情を汲んで全学年を対象にできないのか。

**答** 学童保育については年齢の引き上げについても、実施できるような必要な措置をとる責務があると考えており、その方法、時期なども検討しているところである。

**問** 観光動態は平成15年に326万人、平成22年に320万人で平成25年は

315万人と報告された。近年宿泊施設が減少しているなか、この報告にとまどう。この10年間、観光従事者は年々厳しい現状に観光客減との実感であるが大差無い数値は本当だろうか。実態に近い数値を把握しデータの充実を図りたい。

**答** 観光動態は、交通量をはじめさまざまなデータを加味しながら算出しているが、来年には高速道路も整備されて車の流れも変わってくるので、そのことも含めて再検討して取り組んでいく必要があると考えている。

**問** 漁場、海水浴場付近での水上バイクの危険走行、商行為やゴミの散乱は命と生活を脅かすと町の取り締まり方に苦情がある。安全対策、条例制定、公有水面占有許可区域の見直しを求めるといかがか。

**答** ここ数年、海水浴場として占有できないかを関係機関と協議しているが、安全確保等の問題が指摘され、占有できずにきているのが現状である。条例制定については、研究させていただきたい。



(浜辺でのゴミの散乱、不法投棄)

※このほか、水上議員は一般質問のなかで、町環境基本計画から小型家電リサイクル、生活排水大腸菌、エコカー補助金導入の提案と人口減少を食い止める定住促進、就労支援についても質問しました。



たまき はじめ 議員  
(一問一答)

## ・観光資源の活用について ・防災について



(雄大な中浜)

**問** 今年の夏は台風の影響もあり、来泉客が大幅減となった。秋から始まるデスティネーションキャンペーン、また国体イベントがある。また、念願の番所山整備がなされ、小中学生の体験学習に最適である。ガイドブックも作成され、県外にもアピールし活用を図るべきである。また、高速道路白浜インター近くの中浜地区は歴史もあり、雄大な浜は観光客に一見の価値がある。三段壁、千畳敷同様の観光名所として駐車場等の整備を急ぎ、多くの来泉客に発信してはどうか。

**答** 番所山は、周辺関係機関の連携により、まだまだ誘客ができると考えている。番所山公園を一体とした自然観察等でスポーツライトをあて、修学旅行、教育旅行や民泊等で授業や教材として取り上げていただけるといい。中浜周辺の整備は、地元の見解を聞きながら進めなければならぬ。具体的な取り組みについては、今後の課題になってくるので、地元と一体になって取り組んでいきたい。

※デスティネーションキャンペーンとはJＲグループ旅客6社と指定された自治体、地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーンのこと。

**問** 必ず来る大地震への対応は十分か。高台への避難道、一時避難場所、食糧、水、寒さ対策等、対応しなけれ

ばならないことが多いが、危機管理室の人員は4人で大丈夫か。10月に県主催の避難訓練がある。物資の輸送にヘリを考えるが輸送力は飛行機がはるかに勝る。当町には高台に空港がある。空港につながる道路が整備されつつある。ゆえに防災拠点として最適である。物資を空輸し整備された道路網を利用したトラック輸送で県全体をフォローする計画をし、当町が防災の拠点にならないといけない。このような構想を立てるのであれば防災の窓口、特に危機管理室の役割は多岐にわたる。予算的、人的にも不足していると考えるがいかがか。

**答** 大地震への対応については、さまざまな対応が考えられるが、それぞれの地域の地理的条件に応じた対策を講じる必要があると考えている。災害が発生した場合の町の防災対策や、災

害対応については、危機管理室だけではなく、庁内のあらゆる部署が業務を担っていくことが重要であると考えている。旧南紀白浜空港跡地については、和歌山県の広域防災拠点として、南紀白浜空港については、広域医療搬送拠点としてそれぞれ位置付けられており、地元自治体として円滑な運営に協力していく所存である。白浜町財政健全化プランを作成し、中長期的な観点から行財政のスリム化、効率化に取り組みと同時に定員適正化計画を策定している。今後の職員削減については、行政運営に支障をきたさないよう、これまでの事務事業の統合や見直しと合わせ、合理的な組織再編を進めるとともに、職員のスキルアップ等、住民の皆さまの期待に応えられるよう努めていきたい。



みぞぐち こうたろう 議員  
溝口 耕太郎 (一問一答)

## ・子育て支援について

**問** 今日の日本の社会現状から判断すると、学童保育所は働くお母さん方にとって、今やなくてはならない施設になっている。当町には5カ所の学童保育所があるが、現在の状況はどうか。

**答** 昨年度までの5年間で、各保育所で増減はあるものの、利用者数は170人程度で、ほぼ横ばいの状況であったが、今年度の状況を見ると、今後少しずつ増えてくるのではないかと予想している。

**問** 今般、国の方針が変わり、さまざまな子育て支援について、当町でも審議会ができ、全体の審議をされていると思うが、その状況、また、審議会の目途についてはいかがか。

**答** 現在、民生課とともに、児童福祉審議会で協議しながら、5年を1期とする子

ども、子育て支援事業計画の策定にも取り組んでいるところである。現状では、1月に実施したニーズ調査結果を分析して、利用者の見込みの設定及び利用定員が不足する場合等の地域ごとの整備目標を検討しているところである。

**問** 審議会のあるさまざまな案件のなかに、学童保育の対象を6年生まで引き上げることができるよう、教育委員会では条例改正を含め議論をしていると思うが、当町としての方向性はいかがか。

**答** 当町の条例の制定、その施設ごとでどれぐらいのニーズがあるか調べた結果、学童保育所ごとにどれぐらいの整備が必要かという部分も出てくるかと考えるので、施設の整備に対する計画も策定していかなければいけないと考えている。現在、それに向けて検

討している段階である。

**問** 当町には5カ所の学童保育所の内、改築、指導員の増員をせずに6年生まで受け入れ可能な学童保育所が存在すると思うが、これらの施設にどのような対応を考えているのか。

**答** 利用者のニーズの増加について、受け入れ可能な

施設のほうから受け入れていくということも1つの方法かと考えている。ほかにも段階的に年齢を上げていく、優先順位をつける、そういういろいろな方法があり、当町にとって、どういう方法が一番ベストなのか、それを検討している段階である。

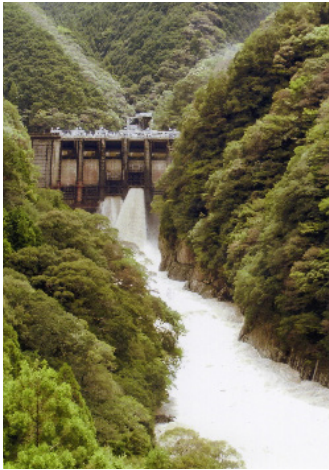


(学童保育所「ガンバクラブ」)



まるもと やすたか  
丸本 安高 議員  
(一問一答)

## ・ 殿山ダムについて ・ 正職員と臨時職員の 格差ある労働条件について



(放流中の殿山ダム)

**問** 8月6日の全員協議会で水利権の期限が7月末と

なっているなか、7月25日に知事と面談し、回答を待ってもらっているとのことだが、同会議で当町は県に対し水利権更新に意見なしとの回答をしたいと説明があった。なぜ意見なしと回答するのか。

**答** 水利使用が地方公共団体が行う施策と密接な関係があるので、双方の事業内容の整合性を図るためにも河川管理者が意見を求めるものである。水利使用の許可に必要とされる審査基準に該当しないことから意見なしと回答するものである。

**問** 8月4日に水利権更新対策協議会の方々が来庁され、町長に要望書が提出した。全員協議会場で協議

会から水利権更新について一任されているとの説明であった。町の考え、意見なしに同意をいただいたとの理解でよいのか。

**答** 今回の水利権更新は単純更新であることから、反対や条件を付しても効果の得られるものではないと考えられることから意見なしでの回答としたいと考えていることを申し上げた。要望書を提出後、町長に一任するというふうなご意見をいただいた。皆さまからいただいた

ご意見、ご要望を先頭に立てて伝えてくることが一番重要であると考えている。

**問** 昨年と今年の6月議会において、超勤手当について質問をし、一定の改善がなされた。非常勤嘱託職員、臨時職員に時間外勤務を命令したことはないのか。

**答** 原則、非常勤嘱託職員、臨時職員には超過勤務を命令しないこととしているが、状況に応じて必要最小限の超過勤務を命令したことはある。

**問** 臨時職員等にも超過勤務手当を出しているのか。また、白浜町には正職員には産休や育休の制度があり、臨時職員にはない。今後、どのように取り組んでいくのか。

**答** 非常勤嘱託職員、臨時職員に超過勤務を命じたとき

は、原則、手当を支給することとしているので、各担当課等で支給されていると考えているが、再度、各課の状況を調べて、改善する必要があるれば改善していく。臨時職員の産休や育休の制度については、要綱に制定すべく取り組んでいきたい。

**問** 7月4日に総務省からの通知で産休、産休等を制度として整備すべきであるとのことだが町の考えはどうか。当町は労基法に違反はしていないか。

**答** 非常勤嘱託職員、臨時職員の休暇制度等について、総務省から地方公務員法第59条技術的助言及び地方自治法第245条の4技術的助言に基づく通知が和歌山県を通じて届いているので、現在、見直しを進めているところであり、できるものから速やかに取り組んでいく。

# 議案第64号及び第65号の審議について

当局から提案された議案第64号「白浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」及び議案第65号「白浜町家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例」について質疑、討論を行い、採決の結果、どちらも賛成多数により可決しました。

採決においての賛成者及び反対者、討論については以下のとおりです。

## 議案第64号（白浜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業

の運営に関する基準を定める条例の制定)

採決結果 **可決** 賛成者 11人 反対者 2人

賛成者	溝口 耕太郎	三倉 健嗣	辻 成紀	堀 匠
	長野 莊一	水上 久美子	楠本 隆典	西尾 智朗
	古久保 惠三	南 勝弥	玉置 一	
反対者	廣畑 敏雄	丸本 安高		

反対討論要約(廣畑議員)

今回の子育て支援新制度、市町村の責任によって保育を提供する現物給付の制度を改めて利用者と事業者の直接契約を起点とする現金給付の支給への仕組みの変更である。市町村の責任が後退し、保育の市場化が進められる。今までの制度を根底から変更する改革であるのに当事者である、たとえば保護者や保育関係者に知らされていない等がある。この条例案は国からそのままの条例案である。よって、私はこの条例案に反対を表明する。



## 議案第65号（白浜町家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例)

採決結果 **可決** 賛成者 11人 反対者 2人

賛成者	溝口 耕太郎	三倉 健嗣	辻 成紀	堀 匠
	長野 莊一	水上 久美子	楠本 隆典	西尾 智朗
	古久保 惠三	南 勝弥	玉置 一	
反対者	廣畑 敏雄	丸本 安高		

反対討論要約(廣畑議員)

新しく大変わりな制度のなかで、住民や国民、保護者、保育者にもっと十分確かな説明をしていくことが必要ではないかなと考える。時期尚早と言うか1年先送りもあり得るのではとも考える。定員規模が小さいことを理由に保育所等に比べて保育者の資格要件の緩和が盛り込まれて、その結果、施設や事業によって保育に格差が出てくる。あるいは、今はこうしたところに民間の施設の設定、基準などで合致しないから、まだすぐには民間の参入はないかもわからないが、将来的にはやはり大手が保育市場に参入してくるという危惧。保育を市場化しない、させないということで、市町村が責任をもって子どもたちを育てていくということが基本ではないか。したがって、この条例案には反対である。

# 提出した意見書

定例会5日目には、2件の意見書の議員提案があり、発議第4号「手話言語法」制定を求める意見書」は全会一致で可決し、政府関係機関へ提出しました。また、発議第5号「国会に憲法改正の早期実現を求める意見書」は質疑のあと、反対、賛成討論を行い、採決の結果、賛成少数により否決しました。

それぞれの提出者及び賛成者、採決結果等については次のとおりです。

## 発議第4号 「手話言語法」制定を求める意見書

提出者 廣畑 敏雄 賛成者 水上 久美子

採決結果 全会一致で可決

### 「手話言語法」制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を使うろう者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

2006（平成18）年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、2011（平成23）年8月に成立した「改正障害者基本法」では、「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国・地方自治体に対して情報保障施策を義務づけており、手話が音声言語と対等に言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であると考えます。

よって、政府と国会が下記事項を講ずるよう強く求めるものである。

#### 記

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年9月17日

和歌山県白浜町議会

【提出先】 内閣総理大臣 文部科学大臣 厚生労働大臣 内閣官房長官  
衆議院議長 参議院議長

発議第5号 国会に憲法改正の早期実現を求める意見書

提出者 三倉 健嗣 賛成者 玉置 一  
 採決結果 否決 賛成者 3人 反対者 9人 棄権者 1人  
 賛成者 三倉 健嗣 古久保 恵三 玉置 一  
 反対者 溝口 耕太郎 辻 成紀 堀 匠 長野 莊一  
 水上 久美子 西尾 智朗 廣畑 敏雄 南 勝弥  
 丸本 安高  
 棄権者 楠本 隆典

反対討論要約(廣畑議員)

憲法が70年の間、改正されなかったことは、この間、国民のなかへ涵養されて、国民の支持を得てきているのではないかなというふうに考える。たとえば、9条の戦力不保持は、自衛隊が海外へ出ても、1人の外国人も1人の自衛隊員も殺し殺されていけないことを見れば明らかである。紛争は外交で解決する。道徳や倫理、愛国心等を国民に押しつけるのではなく、家庭教育や日常の人間関係のなかで育んでいくべきものと考えている。日本国憲法の主権在民、平和主義、基本的人権の尊重は、人類普遍の原理であって、そのときの政治が変更すべきものではない。立憲主義から非立憲主義への後退、平和主義から戦争する国へ、また、天皇の元首化による国民主権の後退、国民の権利拡大には後ろ向き、こうした憲法を巡る動きを促進する国会に憲法改正の早期実現を求める意見書には反対をする。

賛成討論要約(玉置議員)

以前、憲法解釈、いわゆる集団的自衛権の解釈の問題をめぐる、いろいろ議論をしてきたが、私はまだ議論は拙速ではないと考える。外交の問題でもいろいろやりとりがあったが、「諸国民の公正と信義に信頼をして」という憲法の序文があるが、日本の基準と判断基準が国と国とによって、ほんとうに公正と信義なのか。他の国も基準は一緒なのか。基準が同じでなければ外交努力をしても、話がまとまらない。諸国民の公正と信義は数字で割り切れない。領土問題等を判断するなかで、序文が本当に生かされるものかというところに、私は疑念を持つ。公正と信義による基準が1つなのかを考えると、少し削除したり文言を変えたりしなければならぬのではないだろうか。解釈を変更するのはなしに、全体を見直す、もう一度、将来の子供たちの幸せのために、戦争を起こさないためにも、憲法改正ということに前向きに取り組んだらどうかと考える。

請願の審査結果

平成26年第2回臨時会で観光建設農林常任委員会に付託していた請願第1号「JR白浜駅前駐輪場の設置に関する請願書」については、審議の結果、本請願については全会一致で採択することに決定しました。

報告書の内容については以下のとおりです。

請願審査報告書の内容

受理番号	平成26年 請願 第1号
受理年月日	平成26年5月1日
件名	JR白浜駅前駐輪場の設置に関する請願書
請願者の住所及び氏名	和歌山県西牟婁郡白浜町1-1 白浜町青少年育成委員会 会長 佐藤 善英 和歌山県西牟婁郡白浜町十九淵237 白浜町青少年育成町民会議 会長 梅本 昌宏 他1,220人
紹介議員	南 勝弥 水上 久美子
審査結果	採 択



# 活

# 動

# 報

# 告

## 円月島（高嶋）現場視察

7月16日、議会は現在緊急保全対策工事をしている円月島（高嶋）の現場を12人の議員で視察しました。

現場では、教育委員会の学芸員から工事概要、工法等について説明を受けた後、海食洞（橋梁部）の亀裂部及び浸食部の確認をしました。

国指定の名勝であり、白浜町のシンボルでもある円月島（高嶋）の保全について、これ以上、風化しないよう議会でも十分注視していきます。



## 和歌山県町村議会全議員研修会



8月8日、あじさいホール（かつらぎ町）において、和歌山県町村議会全議員研修会が行われ、白浜町議会からは11人の議員が参加しました。

研修会では、歴史家・作家の加来<sup>か</sup>耕<sup>く</sup>三<sup>さん</sup>氏から「戦国武将にみるリーダーシップ」というテーマで歴史上の人物を例に出しながらご講演いただき、物事は冷静にバランスを持って捉え、未来に進むためには過去を調べることが必要であるという内容で、たいへん有意義な研修会となりました。

# 町議会・町議会議長の主な動き (7月1日～9月30日)

7月1日	大辺路衛生施設組合議会
2日	白浜町生活安全推進協議会 総会
3日	第3回臨時議会 議会運営委員会 全員協議会 議員懇談会
4日	京都市大学白浜水族館新装開 館記念式典
6日	日本青年会議所近畿地区協 議会近畿地区大会白浜田辺 大会
9日	白浜町英霊顕彰会 議会広報特別委員会 議員懇談会
11日	富田川衛生施設組合議会定 例会
14日	紀南環境広域施設組合先進 地視察 (岐阜)
15日	全員協議会(円月島現地視察)
16日	全国森林環境税創設促進議 員連盟定期総会(大分)
17日	富田川治水組合議会全定例会
22日	和歌山県消防ポンプ操法大会
27日	和歌山県後期高齢者医療広 域連合議会全定例会
28日	中学生議会
31日	和歌山県町村議会議長会全 議員研修会
8月1日	
4日	田辺周辺広域市町村圏組合 議会全定例会
5日	公立紀南病院組合議会臨時会 全員協議会
6日	議員懇談会
8日	観光建設農林常任委員会 和歌山県町村議会議長会全 議員研修会
26日	議会運営委員会 議員懇談会
27日	田辺西牟婁高速道路整備協 議会総会
9月2日	第3回定例会(第1日) 全員協議会
10日	第3回定例会(第2日) 議会運営委員会
11日	第3回定例会(第3日) 議会運営委員会
12日	第3回定例会(第4日) 議会運営委員会
17日	第3回定例会(第5日) 全員協議会
18日	敬老会
18日	高速道路田辺西牟婁促進 協議会要望活動 (東京)
19日	総務文教厚生常任委員会 行政視察 (静岡)
24日	
26日	

## 編集後記

秋も深まり、白浜の海も遠くの山々も澄みきった青空に映える季節となりました。

今議会の一般質問では9人の議員が登壇し、各分野において当局の見解を求めたところです。コミュニケーションバスについて、補正予算を可決し、日置川地域において10月から試験運行を開始しました。1年後の本格運用に向けて、公共交通のあり方、今後、ほかの地域への課題として、議会としましてもしっかりと見守っていきたいと考えております。

さて、紀の国わかやま国体まで1年を切りました。町民の皆さまの協力を仰ぎ、地域の活性化につなげていければと感じております。また、まもなく第24回南紀日置川リバーサイドマラソン大会も開催されます。1人でも多くの方々に参加いただけることを願っております。

### 議会広報特別委員会

委員長	辻 成紀
副委員長	古久保恵三
委員	堀 匠
委員	水上久美子
委員	楠本 隆典
委員	廣畑 敏雄